

篆刻美術館



石蔵は国の登録有形文化財

時間：9時～17時(入館は16時30分まで)
住所：中央町2-4-18
Tel：22-5611



Q.篆刻美術館ってどんなところ？



篆刻美術館
印出隆之さん

古河市は、生井子華、大久保翠洞、立石光司らを輩出した、書・篆刻のまちです。

大正9年に建築され、ランドマークとなってきた石蔵で、書や篆刻の魅力を伝えています。



▲生井子華「観自在菩薩」

古河文学館



県内初の文学館

時間：9時～17時(入館は16時30分まで)
住所：中央町3-10-21
Tel：21-1129

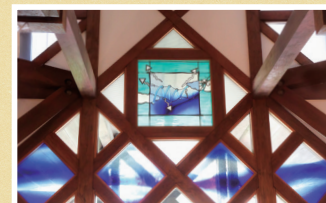


Q.古河文学館ってどんなところ？



古河文学館
坂本さりあさん

大正ロマンの雰囲気を感じさせる洋館で、永井路子をはじめとする、古河ゆかりの作家と関連資料を展示しています。また、木肌の温もりが柔らかなサロンで、ピアノや蓄音器などを楽しむことができます。



オススメの過ごし方

篆刻体験をしてみよう！



Mission
実際に彫ってみよう！



美術学習室(別棟)では篆刻体験ができます。手ぶらで参加可能です(3日前までに要予約)

隠れ文字を探そう！



中庭の石畳には「古河人」の文字が隠されています。観察して探してみてください！

耳を澄ませば涼やかな音色が…



よく耳を澄ますと「キーン」って音が

水琴窟(瓶に落ちる水滴の音を反響させる仕掛け)が奏でる音を楽しめます(毎月第3金曜日10時<雨天中止>)

オススメの過ごし方

古河出身の文学者の本に触れる



その数なんと約1,100冊！

図書コーナーでは、展示で気になった作家の作品などを自由に読むことができます

展示室を自由に回る



展示室は3室。詩歌、小説、児童文学など、ここを見ればあなたも『古河ゆかりの文学』博士！

蓄音器でSPレコード観賞



蓄音器のホーンは紙でできてます

1930年頃にイギリスで製作された幻の名器。竹針による柔らかな音色をお楽しみください

サロン de ピアノ



11時30分～13時30分
グランドピアノを開放中！

ちょっとしたピアニスト気分を味わえます(日によって時間が変わることがあります)

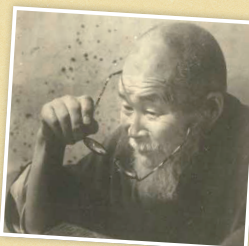
秋の見どころ



開館35周年 篆刻美術館まると観賞「篆刻家 石井雙石と石蔵」

期間 12月6日(日)まで

今秋の企画展では、収蔵品の中から篆刻家石井雙石(1873～1971年)を紹介します。篆刻は主に漢字の古い書体である篆書体を用いて表現するのが特徴です。書で用いる「筆」「墨」に対して、篆刻では「印刀」「印泥(朱肉)」で表現。この展示では雙石が遺した名品を紹介しながら、篆刻が書分野とされる背景、古河の書・篆刻文化を探ります。



秋の見どころ



企画展「上野家三代記～物書きの系譜～」

期間 10月24日(土)～12月23日(木)

古河ゆかりのプロレタリア詩人・上野壮夫とプロレタリア文学運動に携わった妻の小坂多喜子、ふたりの二女で、文筆家・伝記作家として活動した堀江朋子、そして、音楽関係のライターをメインに文筆業に携わる朋子の長女・水白京。3代にわたり脈々と受け継がれる物書きとしてのDNAを、作品と関連資料を通して紹介します。

